北海商科大学　講義概要（シラバス）

2019年度

科目名	観光産業論Ⅱ	科目コード	1228	単位数	3
担当者名	伊藤　寛幸	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次

授業のねらい

観光産業は、従来からの産業分類のように生産物を基準とする産業概念ではなく、需要属性を基準とした横断的産業であるがゆえに、観光産業に類似する分野も多岐にわたる。したがって、領域横断的な学術分野にある観光産業論についても、その対象は多様である。本講義では、観光産業の代表的な運輸業、宿泊業などの業界を中心に、観光関連産業について広く学ぶことによって、観光産業全体の構造と概要を概括的に理解することを目的とする。

到達目標

・観光に関する基礎的な知識を修得する。
・観光産業に関する概念および定義について説明できる。
・観光産業の歴史的展開過程を解説できる。
・観光産業を取り巻く課題について意欲的に考える姿勢を身につける。

授業内容

1週目 ガイダンス
2週目 観光と観光学と観光産業論
3週目 観光産業と諸領域
4週目 観光産業の概念と定義
5週目 観光産業の過去・現在
6週目 観光産業における飲食業
7週目 観光産業における運輸業
8週目 観光産業における宿泊業
9週目 観光産業における旅行業
10週目 観光産業におけるその他観光業
11週目 地域観光産業：北海道
12週目 地域観光産業：東日本
13週目 地域観光産業：西日本
14週目 観光産業の課題抽出
15週目 観光産業の課題解決へ向けたディスカッション
16週目 期末試験およびレポートに対する講評。ただし、やむを得ず15週目までの講義が実行できなかった場合に補講授業を実施。

準備学習(予習・復習)等の内容

・日常において観光産業に関連する情報に関心をよせ、社会動向を常時チェックすること。
・週3時間の予習復習を行うこと。予習復習については、講義中に指示する。

成績評価の方法・基準

レポート40%、期末試験60%

履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

・授業中に、プレゼンテーションをもとめる場合があるので、緊張感と問題意識をもって授業に臨むこと。
・授業の妨げとなる私語、迷惑行為を慎み、授業に集中すること。
・成績評価は、全講義の2/3以上出席した学生を対象とする。
・提出されたレポート等に対しては、採点したうえでコメントを加えて返却（フィードバック）する。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

更新日付

2019/02/25 03:49